

コウノトリ生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕							
[事業目的]														
自然再生のシンボルであるコウノトリを越前市白山地区で引き続き飼育するとともに、野外でコウノトリが定着できるよう生息に係る環境整備等を行う。														
[事業内容]														
<p>(1) コウノトリ飼育 兵庫県立コウノトリの郷公園から借受けたつがいのコウノトリについて、越前市白山地区において飼育を継続する。 外部委託による専任飼育員により、効果的な飼育を行う。</p> <p>(2) 放鳥個体の追跡の実施 平成27年から平成30年に放鳥したコウノトリに装着したGPS発信機を用いて、飛来位置を追跡する。</p> <p>(3) コウノトリ定着推進会議の開催 コウノトリ定着推進会議を開催し、コウノトリの野外定着に向けた対策検討や放鳥後の生態調査を報告・検証する。</p> <p>(4) コウノトリをシンボルとした環境保全事業の実施 (多面的機能支払交付金等を活用) 巣塔設置やビオトープ整備等の環境保全活動の支援を行う。</p>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		野外コウノトリが定着・繁殖できるよう、ビオトープ整備など餌場環境の整備と地域住民への普及啓発に努め、県が主体で行っている飼育・繁殖事業については、越前市の職員を配置することにより、市と協同して事業を推進している。						
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
野外コウノトリ(3ペア)が繁殖し、1例で巣立ち 1. 越前市菖蒲谷町で産卵(親鳥J0481×J0119) 2. 越前市安養寺町でヒナ誕生(親鳥J0138×J0132) 3. 坂井市春江町でヒナ4羽が巣立ち(親鳥J0098×J0078)						野外コウノトリの餌や繁殖の環境整備を支援して、県内での定着を促進させる。								

コウノトリ生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H22 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	12,307				(繰入) 12,307			自然保護基金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点										
当初予算額の推移			24,309	13,825	12,307											
2月現計予算額の推移			16,284	11,935												
決算額の推移			13,833													
前年度までの 主な増減理由		(H30) 水鳥が飛来する地域を対象として、ビオトープを整備 (R元) Tペアの繁殖・放鳥見送りに伴い、予算額が縮小														
[成果指標等の推移]																
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	福井県へのコウノトリ飛 来回数 (目標)							コウノトリの餌および営巣等の環境整備により、野外コウノトリの飛来数が増加することが見込まれる。コウノトリの生活史の観点から飛来数は暦年で集計								
	実績		110	190												
活動指標	ビオトープ等設置個所数 (目標)		(30)		(2)			コウノトリの餌および営巣等の環境整備として、ビオトープ設置個所数と巣塔設置個所数の合計値								
	実績		4	3												
他県の状況							関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎		
事業主体		三方五湖自然再生協議会、北潟湖自然再生協議会			事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R元 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度		
事業実施方法		負担金		□ 法定受託事務						□ 補助金			経過年数	2 年
補助率		1/4		■ その他										
福井県長期ビジョン における位置付け		分野	[安心を高める(地域力)]			関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]						
<p>[事業目的]</p> <p>三方五湖では「三方五湖自然再生協議会(平成23年5月設立)」、北潟湖では「北潟湖自然再生協議会(平成30年11月設立)」において、地元市町と地域住民、農漁業者、研究者および県、市町が協働して地域に即した自然再生を行い生物多様性の保全を行うとともに、保全活動の成果や地域の自然の魅力を全国にアピールしていく。</p>														
<p>[事業内容]</p> <p>○三方五湖自然再生事業実施計画に基づき三方五湖の自然の保全、再生、活用を行う</p> <p>①負担金対象者 三方五湖自然再生協議会</p> <p>②負担金額 2,000千円 (事業総額 8,000千円(国1/2、県1/4、若狭町1/8、美浜町1/8))</p> <p>③活動内容 三方五湖自然再生協議会全体会の開催 自然護岸再生、外来種対策、濁水防止のための普及啓発、水田養魚による地元産のフナ・コイの増殖、子どもラムサール(環境教育)の推進等</p> <p>○あわら市、農漁業者、地域住民、大学研究者が共働して北潟湖の自然の保全、再生、活用を行う</p> <p>①負担金対象者 北潟湖自然再生協議会</p> <p>②負担金額 1,000千円 (事業総額 4,000千円(国1/2、県1/4、あわら市1/4))</p> <p>③活動内容 北潟湖自然再生協議会全体会の開催、北潟湖自然再生実施計画の作成 水質改善、外来種駆除と希少な水棲昆虫の保全、小学生を対象とした環境学習の推進等</p>														
[受益者] 三方五湖周辺の住民、北潟湖周辺の住民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖・北潟湖生物生息環境再生事業 (実績) [三方五湖] ・三方五湖自然再生協議会の設立(H23.5)、 ・自然再生全体構想(H24.3)、事業実施計画(H25.3) 自然再生事業を実施(H25~R元) [北潟湖] ・北潟湖自然再生協議会の設立(H30.11)、 ・自然再生全体構想(H31.3)、事業実施計画(R2.3)					市町との連携状況		三方五湖自然再生協議会では、若狭町と美浜町が県とともに事務局を担い、負担金を拠出している。 北潟湖自然再生協議会では、あわら市が事務局を担い、県とともに負担金を拠出している。					
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
<ul style="list-style-type: none"> ・三方五湖自然再生実施計画の改定作業の開始(R元.10~) ・北潟湖自然再生実施計画(令和2年3月作成) 						<ul style="list-style-type: none"> ・三方五湖自然再生事業実施計画の改定 ・北潟湖自然再生事業を開始 								

三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎	
事業主体	三方五湖自然再生協議会、北潟湖自然再生協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	1/4											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,000			(繰入) 3,000		自然保護基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点							
当初予算額の推移		4,000	3,000	3,000								
2月現計予算額の推移		4,000	3,000									
決算額の推移		4,000										
前年度までの 主な増減理由	(H30) 北潟湖自然再生協議会（自然再生推進法に基づく協議会）の設立と全体構想の作成のための経費を計上											
[成果指標等の推移]												
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	協議会の開催	(目標) (5) 実績 4	(4) 4	(4)			三方五湖自然再生協議会全体会 (1回/年) 北潟湖自然再生協議会全体会 (3回/年)					
活動指標	自然再生活動数 (部会開催数)	(目標) (27) 実績 21	(27) 38	(27)			三方五湖 18回 (各6部会×3回/年) 開催 北潟湖 9回 (各3部会×3回/年) 開催					
他県の状況	滋賀県琵琶湖 「内湖再生全体ビジョン (平成25年3月作成) による自然再生の推進 島根県・鳥取県中海 「中海自然再生実施計画 (平成24年3月作成) による自然再生の推進 自然再生の推進 (中海自然再生協議会 (H20.11) 作成)					関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 三方湖のヒシ対策事業 (役割分担) 三方五湖自然再生協議会においてヒシ刈りの実施試験を行い技術を確立。確立した技術等用いて、ヒシ対策事業において重点的にヒシ刈りを行う。				

SATOYAMAイニシアティブ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画 〕								
[事業目的]															
<p>福井・石川両県知事の共同代表のもと平成25年9月に発足した「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を「SATOYAMAイニシアティブ」の理念を国内で共有するプラットフォームとして位置付け、SATOYAMAにおける生物多様性の保全や利活用を「国民的運動」へと展開する。</p>															
[事業内容]															
<p>企業、NGOなどの民間団体、大学などの研究機関、地方自治体等の行政機関といった多様な主体が取組む自然再生活動等について、①～②を通じて、参加団体相互で情報共有、意見交換を行い、連携・協働して里山里海湖の生物多様性の保全や利活用を全国で広げる。</p> <p>①国内におけるSATOYAMAイニシアティブの普及啓発 ・都市圏や地方における参加団体の活動の情報発信</p> <p>②里山等地域の保全や利活用に関する成果の情報発信 ・参加団体の情報発信や情報共有の場としてシンポジウムや現地視察を実施</p>															
[受益者] SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク会員						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
事務局である石川県・福井県が担当していた臨時総会、シンポジウム、現地視察を、参加団体のフィールドでの交流会に変更した。 ○幹事会2回(東京) ○総会1回、交流会1回 ○IPSI-8公開フォーラムへの参加(熊本) ○現地視察(熊本)(群馬) 2回 ○環境展示会への出展(東京ほか)						参加団体どうしの交流と情報交換をに行い、先進的な活動を促進する。									

SATOYAMAイニシアティブ推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	365			(繰入) 365			自然保護基金							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		707	366	365										
2月現計予算額の推移		707	366											
決算額の推移		262												
前年度までの 主な増減理由	(R元) 勉強会の開催を参加団体の持ち回りで実施することとし、予算縮小													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク参加団体数	(目標) (111) (実績) 115	(117) 116	(118)			新規登録団体 2団体/年							
活動指標	セミナーの開催	(目標) (2) (実績) 2	(2) 2	(2)			参加団体の勉強会を開催							
他県の状況	石川県と福井県が共同でSATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークを運営。					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

「残そう・伝えよう！」生きもの保全事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	補助金			□ 法定受託事務									■ 補助金	□ その他
補助率	10/10													
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]							
[事業目的]														
地域と小学校が共働し、地域の身近な自然環境の保全・再生を行うため、子どもたちが地域の自然再生団体とともに継続的に身近な生きものの調査・保全活動を行う。														
[事業内容]														
<p>(1) 調査対象および内容 地域の宝となる希少な生物(県絶滅危惧種)を含む生き物の調査と保全について、地元の自然再生団体の協力を得なければ継続的に実施することが困難な活動を対象 (例) シャープゲンゴロウモドキ(昆虫)、ミチノクフクジュソウ(植物)、タマシギ(野鳥)など</p> <p>(2) 支援内容 ○補助対象 自然再生団体 10団体 ○補助内容 ・身近な生き物調査と保全活動および小学校での観察会の開催経費 ・生きもの観察調査資機材への助成 ・生き物の生息環境整備に必要な資機材</p>														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 身近な生きもの生息環境調査事業 (実績) 県内7ブロックごとに、身近な生きもの調査をするモデル校を指定し、トンボ、メダカ、積雪量の共通調査と学校独自の学校別調査を実施。 県内8小学校(302人)が参加					市町との連携状況		市町教育委員会との連絡						
	[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
希少種保全を自然再生団体と小学校で実施(県内11団体14小学校)						希少種保全を自然再生団体と小中学校で実施								

「残そう・伝えよう！」生きものの保全事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R2 年度		
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	10/10															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	2,000			(繰入) 2,000		環境保全基金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移		2,000	2,000	2,000												
2月現計予算額の推移		2,000	2,000													
決算額の推移		1,589														
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	参加児童数	(目標) 350 実績 595	(350)	(350)	(350)			35人/1クラス × 10団体								
活動指標	支援団体数	(目標) 10 実績 10	(10)	(10)	(10)			自然再生団体 10団体								
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]					関連する県の計画等		〔 福井県環境基本計画、里山里海湖研究所中期計画 〕											
[事業目的]																			
年縞や豊かな自然環境など、本県が誇るべき里山里海湖による恵みの価値を再認識し、生物多様性の確保と福井の豊かな暮らしの承継につなげるため、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。																			
[事業内容]																			
4名の研究者が、以下の分野において、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。																			
<p>【環境考古】 山崎 彬輝 . . . 年縞を基に、自然、歴史をひも解き、自然と人の暮らしとの関わりを明らかにする研究を推進</p> <p>【保全生態】 石井 潤 . . . 里山、里海湖の生物多様性の保全・再生および生態系サービスの分析評価に関する研究</p> <p>【里地里山文化】 樋口 潤一 . . . 里に伝わる伝統(農法、漁法等)、文化、習俗等の資料を収集、活用して、 県民の生活や里山里海湖の資源を生かした経済活動につなげる研究</p> <p>【森里川海連環】 宮本 康 . . . 県内を中心に、森から海にかけての生態系のつながりと人の暮らしの関わりに関する研究</p>																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		研究の実施において、市町関係施設等との連携を図っている。											
[事業の評価]																			
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点													
これまでの研究成果についての県民および各地域への発表会の実施および、地域における協議会等への参加などを通じて、研究成果の地域への還元に取り組んでいる。																			

実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	8,000	120		(繰入) 7,880				(国庫) 科学研究費補助金、(繰入金) 自然保護基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		7,808	8,095	8,000										
2月現計予算額の推移		4,445	7,065											
決算額の推移		4,029												
前年度までの 主な増減理由	(H30) 研究員2名欠員													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績						5年間の研究期間の途中年度毎に研究成果を数値化することは困難							
活動指標	研究テーマ数	(目標) 実績	(4) 2	(4) 4	(4)	(4)								
他県の状況	県レベルでの里山里海湖に関する研究を行う組織は他県にはない。					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						

三方湖のヒシ対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度		
事業実施方法	直営													
補助率	—													
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画、里山里海湖研究所中期計画]							
[事業目的]														
三方五湖の最上流部に位置する三方湖において、近年、湖面をほぼ埋め尽くすほどにヒシの分布が拡大している。三方湖のヒシ発生に伴い、漁業のための航路阻害や湖辺に堆積するヒシの枯死体から発せられる悪臭などの社会的問題、ヒシの群落内における水中の貧酸素化による生態系の悪影響、湖景観への悪化を解消するために、ヒシ刈取りを実施する。														
[事業内容]														
<p>(1) ワイヤー刈取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5～7月 ・ヒシの葉が湖面を覆う前に発芽区域全体を刈取る。 ・漁船に装着したワイヤーを引きながら、水深1～2mで葉が水面に出てくる前の若いヒシの茎を刈取る。 <p>(2) ヒシの回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈取りしたヒシのうち、漂流し漁業等に支障をもたらすヒシは回収し、陸揚げして処分する。 <p>(3) モニタリング費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖面に繁茂しているヒシの状況の航空写真を撮影し、ヒシ刈取りの効果を測定する。 														
[受益者] 県民						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況								
[事業の評価]														
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点								
刈取面積220ha、モニタリング実施						刈取面積を200haに変更								

三方湖のヒシ対策事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,400	9,300			3,100	電源交付金								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		18,052	14,830	12,400										
2月現計予算額の推移		18,052	14,830											
決算額の推移		17,997												
前年度までの 主な増減理由	(R元) 機械による刈取りを行わないことに伴い、予算額が縮小													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	ヒシ繁茂面積 (ha)	(目標) (34)	(34)	(34)			三方湖ヒシ対策ガイドライン（三方五湖自然再生協議会外来生物等対策部会）のゾーニング計画に沿って平成18年～28年までのヒシの最小繁茂面積（34ha）程度を保全する。							
		実績 153												
活動指標	ヒシ刈取り面積 (ha)	(目標) (240)	(240)	(200)			平成18年～28年までの最大繁茂面積（271ha）と最小繁茂面積（34ha）の差となる240haのヒシを最大の目安として毎年刈り取る。							
		実績 200	144											
他県の状況	○諏訪湖に係る第6期水質保全計画（平成24年度から平成28年度） 「水草刈取船による諏訪湖のヒシ除去工事の実施（H25～長野県諏訪建設事務所）」 ○印旛沼に係る湖沼水質保全計画（第7期 平成28年～令和2年） 「印旛沼におけるオニビシの刈取り実施」					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 三方五湖・北潟湖自然再生事業 （役割分担） ヒシの適正管理を行う手法開発として、平成25年から平成27年において、ヒシ刈取り専用船によるヒシ刈り実施試験の成果として「ヒシ対策ガイドライン」を作成。平成28年度からは、ワイヤー刈りによる低コストで効果的な管理手法の実証研究を実施。						

福井ふるさと学びの森 がんばる里山里海湖応援プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画、里山里海湖研究所中期計画]								
[事業目的]															
福井ふるさと学びの森・海湖における体験活動をとおして、人の暮らしと里山・里海湖との関わりや森と海湖のつながりを学ぶ機会を提供し、県民の里山里海湖保全の意識醸成につなげる。															
[事業内容]															
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>(1) 福井ふるさと学びの森の運営</p> <p>○学びの森 若狭エリア の運営 場所： 若狭町気山(民有林) 内容： ・一般県民を対象とした体験プログラムの実施 (3回) ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供(3回) ・里山林の保全作業の実施</p> <p>○学びの森 あわらエリア の運営 場所： あわら市波松(民有林) あわら市北潟(国有林) 内容： ・一般県民を対象とした体験プログラムの実施 (1回) ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供(2回)</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>(2) 福井ふるさと学びの森・海湖ネットワーク事業 福井ふるさと学びの森・海湖登録団体の活動内容のレベルアップを図り、県内外での集客力を高めることで、森と海湖のつながりを学べる環境づくりを推進</p> <p>① 先進的、挑戦的な活動への支援 4件(定額補助、上限200千円/件) ② 県内外への情報発信 〔・県外商談会、出向宣伝で広報 ・登録団体イベントの情報提供を行うチラシ作成〕 ③ 安全性の向上のための合同研修会兼情報交換会を開催</p> </div> </div>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「福井ふるさと学びの森」事業、ネットワーク事業 (実績) (1) 学びの森3か所(若狭町、あわら市、奥越)を運営(奥越は自然保護センターと共催)し、一般県民を対象とした年間体験プログラムを実施 (2) 学びの森登録団体への支援					市町との連携状況								
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
・県直営の学びの森事業実施回数 8回 (若狭、あわら3回、奥越2回) ・学びの森・海湖ネットワーク大会 福井市で開催															

福井ふるさと学びの森 がんばる里山里海湖応援プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	-															
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等								
予算額	4,147			(繰入) (諸)	4,125 22			(繰入金)環境保全基金、(諸収入)参加者実費負担分								
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点											
当初予算額の推移		5,159	5,129	4,147	資機材貸出に係る事業を別事業として計上 (※30年度は前事業の額を記載)											
2月現計予算額の推移		5,159	6,389													
決算額の推移		4,912														
前年度までの 主な増減理由	(R元) 先進的・挑戦的な活動を行う団体への補助支援を追加、県内広報誌への広告費を追加															
[成果指標等の推移]																
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠									
成果指標	森団体と海湖団体の連携 企画数	(目標) 1	(1)	(1)			1回									
活動指標	ネットワーク事業開催回 数	(目標) 1	(2)	(2)			森1回、海湖1回									
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								

里山保全活動用資機材貸出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [安心を高める(地域力)] 政 策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画、里山里海湖研究所中期計画]								
[事業目的]															
人の手が入らなくなり荒廃が進む里山の保全・再生および資源利用の推進のため、里山保全活動用資機材の貸出しを行い、県内の里山の保全・再生を促進する。															
[事業内容]															
<p>森林保全活動や学びの森の活動の安全性向上に必要となる資機材を無償で貸与する。</p> <p>○貸出資機材 ウッドチップパー、薪割り機、組み立て式炭化炉、電動チェーンソー など</p> <p>○貸出拠点 県森林組合連合会（福井市）、JA越前武生（丹南）、里山里海湖研究所（若狭町）</p>															
[受益者] 県民						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 森と海湖のつながり体感事業 (実績) 資機材貸出件数 (H30) ウッドチップパー (4台) 47回 薪割り機 (4台) 25回 炭化炉 1回					市町との連携状況									
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
貸出拠点 嶺北、嶺南各1か所 (計2か所)						貸出拠点の拡大 嶺北2か所、嶺南1か所 (計3か所)									

里山保全活動用資機材貸出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											経過年数		
補助率	-											1 年		
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,366				(繰入) 1,366			環境保全基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分			30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点								
当初予算額の推移			/	/	1,366									
2月現計予算額の推移			/	/										
決算額の推移			/	/										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分			30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	貸出回数	(目標) 実績	(60) 73	(60)	(60)			ウッドチップパー、薪割り機、炭化炉の貸出が毎月5回						
活動指標	貸出し拠点数	(目標) 実績	(2) 2	(2)	(3)			嶺北、嶺南各1か所 令和2年度以降は嶺北2か所、嶺南1か所						
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 元気なふるさとの里山整備事業 (役割分担) 里山整備時に必要となる資機材を貸出						

里山文化体験講座

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務	事業区分	■ 実行予算	事業開始年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野	[安心を高める(地域力)]			関連する県の計画等		[福井県環境基本計画、里山里海湖研究所中期計画]												
[事業目的]																			
<p>里山里海湖研究所の来所者に対し、地域のお年寄り（ふるさと研究員）や里山里海湖相談員を講師に、里山里海湖の伝統的な人の営みを題材とした気軽な体験メニューや周辺の自然環境を活かした体験メニューを提供し、里山里海湖の魅力を幅広い世代に伝える。</p>																			
[事業内容]																			
<p>自然観察棟周辺の自然環境を活かした植樹や生き物観察など、来所者が縄文ロマンパーク一帯で里山文化を体感できる自然体験企画を実施する。</p> <p>○開催日 年4回 ○場 所 里山里海湖研究所自然観察棟および縄文ロマンパーク周辺</p>																			
[受益者] 県民						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況												
[事業の評価]																			
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点													
自然観察棟、縄文ロマンパークや、周辺の農園を活用した特別企画を毎月開催（荒天により一部は中止）						一部業務を民間活動団体へ委託し、団体の育成を図る。													

里山文化体験講座

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	-													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	476			(繰入) 476		環境保全基金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		1,379	987	476	一部を民間活動団体に委託して実施									
2月現計予算額の推移		809	987											
決算額の推移		650												
前年度までの 主な増減理由	(R元) シルバー人材センター委託業務を削減													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	来所者数 (目標)	(15,000)	(15,000)	(15,000)			展示・体験メニューの充実を図り、来所者数の増加を目指す							
	実績	20,044												
活動指標	時節に応じた企画イベント数 (目標)	(2)	(12)	(4)			(R1) 毎月1回 (R2) 年4回							
	実績	6	12											
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							

元気なふるさとの里山整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、補助			□ 法定受託事務									□ その他
補助率	10/10												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]			関連する県の計画等	[福井県環境基本計画、里山里海湖研究所中期計画]								
[事業目的]													
地域住民と企業社員や学生等が協力して、荒廃する里地里山の整備・保全を行うことにより、地域の里地里山を観光や交流場所等の資源として活用を図るとともに、地域活動を活性化させる。													
[事業内容]													
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>(1) 里山整備希望地区の調査・募集</p> <p>(2) 地区との整備活動を希望する企業・学生の募集</p> <p>(3) 整備希望地区と企業等のマッチング</p> <p>(4) 整備計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然再生士、環境アドバイザーの派遣 <p>(5) 里地里山の整備</p> <p style="padding-left: 20px;">(ふるさとのシンボルとなる森、遊歩道、展望台、憩いの広場など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備に必要な原材料費、重機リース代、オペレーター人件費等への補助 ・資機材の貸出し ・環境アドバイザー等、専門家の派遣 ・参加企業社員・学生等の保険料 </div> <div style="width: 48%;"> <p>(6) 整備後のフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業等および整備集落住民の意見を整備効果とともにHPで公開 </div> </div>													
[受益者] 県民						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況							
[事業の評価]													
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点							
県内4か所で整備実施													

元気なふるさとの里山整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H30 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	403	201			202	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		480	779	403	整備時の専門家派遣経費等の見直しに伴い、予算額が縮小									
2月現計予算額の推移		100	779											
決算額の推移		100												
前年度までの 主な増減理由	(H30→R元) 支援対象地区 1地区→3地区													
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	企業等参加団体数	(目標) 実績	(1) 1	(3) 4	(4)			H30は1地区で実施、R元以降は3地区程度で実施						
活動指標	活動地区数	(目標) 実績	(1) 1	(3) 4	(4)									
他県の状況					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 里山保全活動用資機材貸出事業 (役割分担) 里山整備時に必要となる資機材を貸出							

年縞博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
水月湖年縞および平成30年9月にオープンした年縞博物館の認知度を高め、また、年縞研究の重要性について理解を深めてもらうため、特別企画展を実施し、年縞博物館への誘客を図る。															
[事業内容]															
<p>概要：宇宙や地球には様々な縞模様が観察され、それを読み解く「縞々学」と呼ばれる学問がある。それは様々な縞模様を調査することで、宇宙や地球の歴史、人類史を解き明かす学問分野である。年縞研究もその一つである。本企画展では、地球の歴史が刻まれた縞模様の自然物を展示し、年縞研究の啓発を図る。</p> <p>テーマ：特別企画展「シマシマが語る 地球46億年の歴史」(案)</p> <p>時期：令和2年8月1日～9月30日(予定)</p> <p>展示構成：①生命の故郷・海の誕生 ②地球の大変革ー酸素の発生 ③プレートテクトニクスの記録 ④巨大隕石衝突 ⑤今つくられている縞 ⑥生きものがつくる縞</p> <p>特別講演：企画展開催中に1回実施</p>															
[受益者] 来館者						[想定される受益者数] 15,000人									
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 年縞博物館開館記念事業 (実績) 平成30年9月に年縞博物館が開館するに当たり、世界の年縞の研究・教育の拠点として、年縞の魅力を県内外に発信するため、特別企画展を開催					市町との連携状況	(H30～) 若狭三方縄文博物館との合同特別企画展の実施								
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別企画展「古代エジプト文明」(R元. 8. 1～9. 30) <ul style="list-style-type: none"> 第1部 文明と気候変動(年縞博物館) 企画展開催期間中の来館者数：15,311人 第2部 水辺の民たち(縄文博物館) ・ 特別企画展記念講演(R元. 8. 18) <ul style="list-style-type: none"> 講師：吉村 作治 氏 (東日本国際大学学長・早稲田大学名誉教授) 															

年縞博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,855	1,927			1,928	地方創生推進交付金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		/	4,793	3,855										
2月現計予算額の推移		/	4,793											
決算額の推移		/												
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	企画展開催期間中の来館者数 (目標)	/	(8,000)	(15,000)										
	実績	/	15,311											
活動指標	特別企画展開催件数 (目標)	/	(1)	(1)										
	実績	/	1											
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 年縞博物館資料収集事業 (役割分担) 収集した資料を企画展等で公開						

年縞博物館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R元 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]								
[事業目的]															
年縞研究・教育・観光の拠点である年縞博物館において、研究を推進し研究成果を普及啓発することで、年縞博物館の魅力を高め、北陸新幹線福井・敦賀開業を見据えた来館者の増加を図る。															
[事業内容]															
<p>(1) 国際年縞研究会の開催 水月湖年縞に含まれる花粉化石から年代測定を行い、年代のものさし「IntCal」の精度を向上させる研究を推進するため、年縞研究を最前線で行っている海外研究者を招聘し、最新の研究成果や今後の研究の方向性等を検討する研究会を、立命館大学とともに開催（1回）</p> <p>(2) サイエンスカフェの開催 水月湖年縞の研究に関連する各分野の専門家を招き、県民が年縞研究の見識を深める「サイエンスカフェ」を実施（5回、各回30名程度）し、年縞の魅力を発信する人材を育成</p>															
[受益者] 来館者						[想定される受益者数] 60,000人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					市町との連携状況		若狭三方縄文博物館の学芸員を講師に招き、サイエンスカフェを開催 (R2.1.17)							
[事業の評価]															
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点									
・国際年縞研究会 (R2.1.23~R2.1.24) 立命館大学と連携し、海外研究者を招聘 地元高校生に対し、研究説明を通じたガイドツアーを実施 ・サイエンスカフェ 考古学や地質学等の専門家を招き開催 (5回)															

年縞博物館魅力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎						
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R元	年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4	年度	
事業実施方法	直営											経過年数	2				年
補助率	—																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	1,267	633			634	地方創生推進交付金											
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点												
当初予算額の推移		/	6,288	1,267													
2月現計予算額の推移		/	6,288														
決算額の推移		/															
前年度までの 主な増減理由	(R元) 博物館ガイドブック（解説書）、PR動画等を作成																
[成果指標等の推移]																	
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠										
成果指標	来館者数 (目標)	/	(60,000)	(60,000)			年縞博物館の来館者数										
活動指標	研究会、サイエンスカフェの開催 (目標)	/	(7)	(6)			国際年縞研究会（1回）、サイエンスカフェ（5回）										
他県の状況						関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 年縞博物館企画展開催事業 (役割分担) 年縞研究の重要性について理解を深めてもらうため、企画展を実施									

海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	佐々木真二郎							
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	直営																		
補助率	—																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [安心を高める(地域力)] 政策 [ふるさとの暮らしと風景の維持]					関連する県の計画等		[福井県環境基本計画]											
[事業目的]																			
センターの活用や来館を促進するため、主催事業や出張講座、個人受入講座の内容を紹介するとともに、福井の海湖（うみ）に親しみ、環境保全意識の高揚や海産資源の消費拡大に向けた特別企画を開催する。																			
[事業内容]																			
<p>①学ぼう！福井の海湖（うみ） イベント 5月9日（土）・5月10日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者に海岸清掃やゴミの回収・分別に協力してもらい、海湖をきれいにする事の大切さを感じてもらう。 ・回収した漂着物を使い、アート作品にリサイクルして環境保全意識を高める活動を行う。 ・磯観察や魚釣りをを行い、多様な福井の海の生きものを知ってもらう。 等 <p>②考えよう！福井の海湖（うみ） イベント 7月18日（土）・7月19日（日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船体験を行い、若狭湾の自然・景観に素晴らしさや養殖場を見学し、水産資源保護について学ぶ。 ・関係各機関に依頼し、海湖の資源保護や活用に関する講演会やクイズ大会を行う。 ・福井の海湖（うみ）に関連する資源を活用したクラフト講座を行う。 等 																			
[受益者] 来館者						[想定される受益者数] 10,000人													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名					市町との連携状況	・県立大学、水産試験場、各地区教育委員会・小学校、各地区観光協会等との連携 ・若狭町ソーデーマーチ、若狭町ハート&アートフェスタへの参加協力 ・海岸清掃時のゴミ処理については、ボランティア活動として処理費用を免除（若狭町）											
[事業の評価]																			
前年度の実績						実績を踏まえた令和2年度の変更点													
・5月11,12日「学ぼう！福井の海湖（うみ）」5,758人 ・7月13,14日「海湖（うみ）の体験とナイトアクアリウム」6,112人																			

海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	佐々木真二郎			
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,437			(繰入) 2,437		自然保護基金								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	実績等を踏まえた2年度の変更点									
当初予算額の推移		2,626	2,488	2,437										
2月現計予算額の推移		2,626	2,488											
決算額の推移		2,619												
前年度までの主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	来館者数 (目標)	(120,000)	(120,000)	(120,000)			GW明けに1回目のイベントを開催し、環境保全の啓発をする。夏休みの前に2回目のイベントを開催し、観察活動に最適な時期の参加者増を狙い、環境保全意識の高揚を図る。							
	実績	132,779												
活動指標	イベント来場者数 (目標)	(10,000)	(10,000)	(10,000)			R元学ぼう！福井の海湖（うみ）（5,000人）、考えよう！福井の海湖（うみ）（5,000人） ※今年度の集客をもとに算出							
	実績	15,430	13,444											
他県の状況	石川県のとじま水族館（宿泊体験等の企画イベントを実施）				関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 自然体験講座開催事業 （役割分担） 当センターの自然体験講座開催事業について紹介したり、参加の予約を受け付けたりするなど、講座参加率向上を図る。							